



宝塚市立良元小学校 学校通信

良元通信

家庭数
配布

令和6年(2024)12月17日号

校長 狩野 洋光

ひとつのことばをたいせつに

ひとつのことば
北原 白秋

ひとつのことばで けんかして
ひとつのことばで なかなおり
ひとつのことばで 頭がさがり
ひとつのことばで 心がいたむ
ひとつのことばで 楽しく笑い
ひとつのことばで 泣かされる
ひとつのことばは それぞれに
ひとつの心をもっている
きれいなことは きれいな心
やさしいことは やさしい心
ひとつのことばを大切に
ひとつのことばを美しく

宝塚市では12月を「いじめ防止月間」としています。良元小学校では、「伝え合い、関わり合う子ども」を目指した教育活動を行っています。活動を通して、友だちの良さに気づくこともあるでしょう。認められたり、励まされたり、なぐさめられて嬉しい気持ちになることも多くあります。一方、関わり合うことで、ケンカになることもあります。気持ちが通じ合わなくて、悲しい気持ちになることもあります。悲しかったり、腹が立ったりした気持ちを相手にじょうずに伝えることができればよいのですが、子どもは未熟です。いや、大人も未熟なのかもしれません。関わり合い、人と人をつなぐのも「ことば」、関係を切ってしまうのも「ことば」、相手を傷つけるのも「ことば」です。

子どもたちも「ことば」の力をじゅうぶんにわかっています。子どもたちが考えた「人権標語」のなかにも、「ことば」をテーマにしたものがありました。やさしい気持ちをもった子どもたちが、心おだやかに、「いじめ」につながる言葉や行動に気を付けて相手を、自分を大切にしてほしいなど切に思います。

人権標語から

◎「ふわふわことば」～ そばで聞いているだけで、幸せな気持ちになりますね

ふわふわことば いわれたひとは ころあたたか(1年)

ねえねえ見たよ すごくじょうずだったよ そんなひとこと うれしいな(2年)

うれしいな ふわふわことば つかったら(3年)

◎「協力」「友だち」～ いろんな人との関わり合いを通して学んでいます

ともだちと いっぱい あそぶと たのしいな(1年)

ともだちと いろんなことを がんばろう(2年)

助け合い みんなが 楽しい 毎日だ(3年)

友だちを 守るやくめは みんなだよ(4年)

◎悪口 言葉 ～ 「言わなければよかった…」「本当に伝えたいことは…」

わる口は 言ってしまったら もうきえない(3年)

その言葉 それは 言っても 大丈夫?(4年)

友だちと かげで ヒソヒソ いいのかな(4年)

やめようよ 人の悪口 いやだから(5年)

暴言は 手をあげてないけど いじめだよ(5年)

伝えよう 自分の気持ち 自分の言葉で(6年)

◎「ありがとう」「あいさつ」

ありがとう うれしいきもち ひろがるよ(1年)

ありがとう 言ってもらったら うれしいな(2年)

大切だ その一言が ありがとう(4年)

ありがとう うれしくなって 笑顔 いっぱい(5年)

ごめんなさいと ありがとうは 早く 言おう(6年)

げんきよく あいさつすると げんきになる(1年)

あいさつは えがおを つくる まほうだよ(3年)

あいさつを みんなで 使って いい気持ち(4年)

あいさつは みんなが 笑顔になる言葉(5年)

「みんな」「世界」「おもいやり」「宝物」「個性」「笑顔」「楽しい」といった言葉に目を向けた作品もありました。

◆みんながね

安心できる まちに しょう

◆この未来

助け合いして 笑顔いっぱい

◆おもいやり 家族 先生 友だちに

◆その人 君もだれかの宝物

◆気にするな! 悪口なんて

自分らしかったら 百点だ

◆毎日の 小学校 楽しいな

◆全員で 笑顔あふれる 学校へ

子ども、大人、みんなで 楽しい学校に していきましょう。